



TITLE:

會員動静

AUTHOR(S):

CITATION:

會員動静. 日本外科宝函 1938, 15(4): 712-713

ISSUE DATE:

1938-07-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204952>

RIGHT:

Röntgen ノ方モノノ方面デ發達サセルノモヨイ。然シ臨床家ハ症狀ヲ臨床上ニ見出スコトガ必要デアル。即チ Symptom ヲ fein ニ觀察スル様ニ心掛ケタイ。

コノ教室ガコレ迄 International ニ何カ仕出カシテ日本ノ外科ヲ世界ノ外科タラシメ様トシテ歩イテ來タノデアリマスカラ、今後モ更ニ一層 International ニ beitragen シテ頂キ度イと思フ。ソシテ之ハ新シイ兩教授ガ共同シテヤレバ畏ルベキ後世ドンナ事デモ出來ルト思フデス。何處迄モ外科ノ傳統的精神ヲ發揮シテ頂キ度イ。

私ハ今回ヲ以テ本集談會カラ姿ヲ消スト言フノデハナクテ今後再々 gemütlich ニ出テ來ルデス。今日ハ兎ニ角一ツノクギリデアリマスカラ御挨拶シテ置キマス。

更ニコノ外科集談會ガ益々發達スルニハ從來ノ儘ノ仕方デヨイカ、或ハ外科、内科、病理（整形外科ハ勿論デス）等ト聯合シテ共同ノ目的ニ向ツテ進ム様ニスルノモーツノ方法カト考ヘマス。コノ目的トハ日本ノ外科ヲウチ立テ、日本ノ爲ニ、ヒイテハ Menschheit ノ幸福ニ資スルコトガ即チソレデアリマス。

外科集談會ガ今後永續進展センコトヲ望ンデ止ミマセン。（自席ニ復ス）……（拍手）……

青柳教授（起立、一同ヲ代表シテ）

『誠ニ有難ウゴザイマシタ。』

會 員 動 靜

入 會

新潟市萬代橋大通リ新潟目黒書店内

北海道夕張郡夕張町

新 潟 圖 書 協 會
北 海 道 炭 礦 汽 船
夕 張 炭 礦 病 院

轉 居

神戸市林田區前原町 2 丁目 5

和歌山縣有田郡箕島町大字箕島 1414

宇和島市市立病院外科

廣島市立町

滿洲國撫順南大街東五番町 滿鐵南療

熊本縣飽託郡河内村

熊本縣上益城郡木倉村

盛岡市大通リ

群馬縣勢多郡木瀬村

山梨縣都留郡谷村町

上 山 堯 之
中 尾 三 譽 治
甲 賀 熹 六
難 波 丈 夫
守 田 尚
廣 田 志 之 次
穀 本 力
晴 山 和 彌
北 爪 忠 義
權 守 英 夫

岡山市上伊福東町662

兵庫縣城崎町 濱野醫院

和歌山市日本赤十字社支部病院外科

東京市淀橋區下落合 1 / 523

熱海市本町 高塚方

名古屋市西區泥江町 2 / 1

盛岡市上田與力小路43

臺中市大正町 2 / 4

丸龜市步兵第十二聯隊軍醫候補生

丸龜市步兵第十二聯隊第二大隊第七中隊軍醫候補生

高田市高田聯隊軍醫

滋賀縣犬上郡豐鄉村 豐鄉病院

神戸市須磨區松風町 4 / 25

仙臺市東三番丁58 鈴木外科病院

旅順市春日町 陸軍官舍新 7 號

川崎市淺田町 1 / 28

兵庫縣赤穂郡相生町 播磨病院

京都市伏見區深草步兵第九聯隊補充隊第三中隊

延岡市北新小路

西宮市廣田區廣田神社前 磯野方

廣島縣加茂郡志和堀村 山本勉方

廣島縣安佐郡綠井村

川 上 儀 三 郎

濱 野 司 郎

松 谷 太 郎

森 武 美

星 四 郎

富 田 忠 良

三 田 憲 二

山 本 宗 三 郎

安 西 茂 則

宮 脇 濟

佐 々 木 武 也

小 澤 邦 香

金 子 誠 一

鈴 木 退 輔

田 代 藤 吉

田 邊 重 信

吉 田 正 久

藤 野 敏 行

八 田 守 弘

岸 陽 一

山 本 明 治

今 井 次 雄